(No.07H0471)

# 消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

## 【事例概要について】

| | |
|---|---|
| **１．事故・ヒヤリハットの別** | ヒヤリ |
| **２．体験した事例の名称** | 火災出動途上における赤信号時の交差点内進入について |
| **３．体験した事例の中心的要素** | 左右の停止確認が不十分であった。 |
| **４．体験した事例の原因・理由** | 左右の停止確認の不十分であった事。<br>広報が不十分であった事。<br>サイレンに対して、相手側が注意してくれなかった事。 |

## 【体験した事例の直接的原因について】

| | |
|---|---|
| **１．体験した事例の直接的な原因** | 状況判断に問題があった。 |

## 【体験した事例について】

| | |
|---|---|
| **１．発生日時** | **平成**　18 **年** 10 **月** 6 **日**　　**午後**　11 **時頃** |
| **２．発生した当時の天候** | 曇 |
| **３．発生した活動現場** | 屋外：通行量の激しい信号機交差点 |
| **４．体験した事例の種類** | 回答者が、他人を負傷させた。 |
| **５．事故の程度（ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度）** | 軽傷の怪我をしていた（させていた）だろう。 |
| **６．どのようなことが起きたのか（起きそうになったのか）** | |
| **７．事例体験時の活動** | 火災、出動途上、　[　] |
| **８．（７の活動中）どのような作業中に発生したか** | |
| **９．同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。** | 初めて体験した。 |

**１０．ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者Ａ）**

| | |
|---|---|
| **○当事者Ａ** | 年齢[ 52 ]歳、 勤続年数[ 34 ]年、 現場経験年数[ 34 ] 年、 階級[ 消防司令補 ]、<br>同様の活動 [ 数年に１度程度 ]、 任務 [ 複数隊の隊長 ] |
| **○当事者Ｂ** | 年齢[ 30 ]歳、 勤続年数[ 7 ]年、 現場経験年数[ 7 ]年、 階級[ 消防士長 ]、<br>同様の活動 [ 過去に１,２回程 ]、 任務 [ 隊員 ] |
| **○当事者Ｃ** | 年齢[ 21 ]歳、 勤続年数[ 3 ]年、 現場経験年数[ 3 ]年、 階級[ 消防士 ]、<br>同様の活動 [ 初めて ]、 任務 [ ] |
| **その他<br>(当事者が４人以上の場合)** | |

**１１．事例発生の経過。**

| | 誰(何)が | なにをした | その他・備考など |
|---|---|---|---|
| **経過１** | 当事者Ａ | 当事者Ｃに車が接近してくるのを指示を促した。 | |
| **経過２** | 当事者Ｂ | 当事者Ｃに車が接近してくるのを指示を促した。 | |
| **経過３** | 当事者Ｃ | 消防車運転中、横から来た車と接触しそうになった。 | |
| **経過４** | | | |
| **経過５** | | | |
| **経過６** | | | |
| **経過７** | | | |
| **経過８** | | | |
| **経過９** | | | |
| **経過 10** | | | |

## 【その事例発生時の状況について】

**○事故の場合　　：事故が起きたのはどうしてだと思うか？**
**ヒヤリハットの場合：ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？**

危険情報を把握、予見できた。他隊(員)から適切な注意を受けた。たまたま、負傷事故にならなかった。

**○心理・体調について**

**ａ．あせりを感じていた**

| | |
|---|---|
| **・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。** | はい |
| **・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。** | いいえ |
| **・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。** | いいえ |

**ｂ．注意力が欠如していた**

| | |
|---|---|
| **・１つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。** | いいえ |
| **・活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。** | いいえ |
| **・体調不良や疲れにより注意力を欠いた。** | いいえ |

**ｃ．経験・知識が不足していた。**

| | |
|---|---|
| **・活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。** | いいえ |
| **・活動中に起こりうる危険について認知していなかった。** | はい |
| **・活動に対する経験が不足していた。** | はい |

**ｄ．心身の不調があった**

| | |
|---|---|
| **・体調が悪かった。** | いいえ |
| **・悩み事があった。** | いいえ |

**○装備・資機材について**

**ｅ．資機材の故障・不具合があった。**

| | |
|---|---|
| **・装備・資機材自体に問題があった。** | いいえ |
| **・装備・資機材の使用方法が誤っていた。** | いいえ |
| **・装備・資機材の対処能力を超えていた。** | いいえ |
| **・必要とする装備・資機材がなかった。** | いいえ |

**○活動環境について**

**ｆ．障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。**

| | |
|---|---|
| **・障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。** | はい |
| **・特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。** | いいえ |

**ｇ．行動しにくい環境だった。**

| | |
|---|---|
| **・狭隘な場所であった。** | いいえ |
| **・暑かった（寒かった）。** | いいえ |
| **・野次馬が多かった。** | いいえ |
| **・現場周辺の地理に不案内だった。** | いいえ |

**ｈ．足場が悪かった。**

| | |
|---|---|
| **・足元が躓いたり滑りやすかった。** | いいえ |
| **・足元の強度が不足していた。** | いいえ |

**○指揮・管理について**

**ｉ．適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。**

| | |
|---|---|
| **・活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）** | いいえ |
| **・指示内容に誤り・偏りがあった。** | いいえ |
| **・指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）** | いいえ |

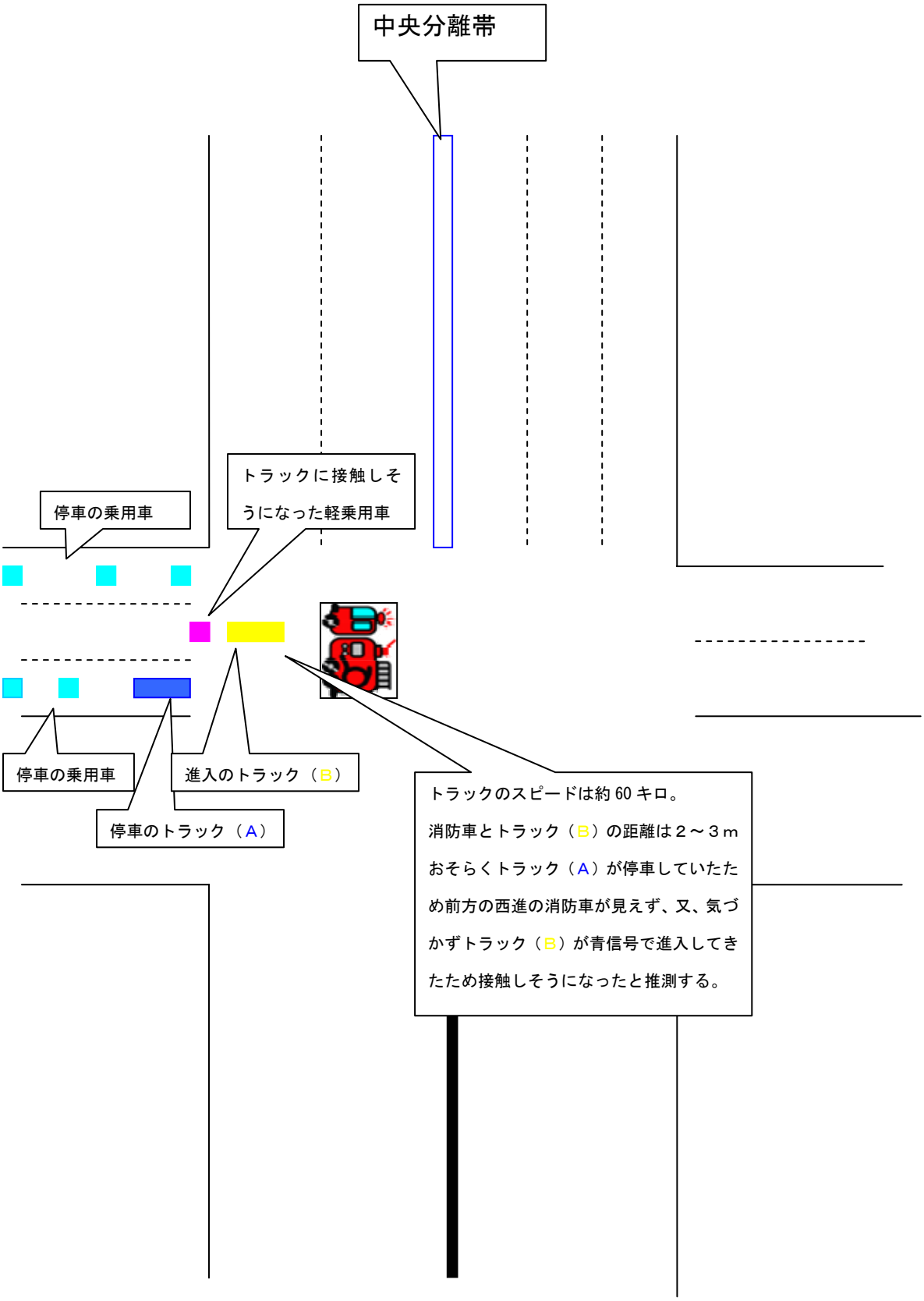
**ｋ．関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。**

| | |
|---|---|
| **・隊員の連携が不十分だった。** | いいえ |
| **・隊員が不足していた。** | いいえ |

**○その他**

**ｌ．その他の理由があった。**

| |
|---|
| いいえ |


中央分離帯
トラックに接触しそうになった軽乗用車
停車の乗用車
停車の乗用車
進入のトラック（B）
停車のトラック（A）
トラックのスピードは約 60 キロ。
消防車とトラック（B）の距離は２～３ｍ
おそらくトラック（A）が停車していたため前方の西進の消防車が見えず、又、気づかずトラック（B）が青信号で進入してきたため接触しそうになったと推測する。